

泉靖一 いづみ じゅんいち 文化人類學者。大正四年六月二日東京生れ、昭和四十五年十一月十五日歿（一九五七〇）。昭和十二年京城帝國大學法文學部卒。二十四年明治大學助教、二十六年東京大學東洋文化研究所の終り、四十五年所長。日本國內や南米の野外調査の當り、東大アンデス學術調査團の團長を四度務める。『泉靖一著作集』全七卷（昭和四十六年―四十七年刊）がある。

著譯書 『社會學叢書』資料・II―或る文化變遷のヒノグラフィ（昭和）
十六年六月十日敬文堂書店）、ハインズ著『アマゾン探検記』（訳、昭和）十九年四月五日河出書房『世界探検紀行全集』）、『アンデスの芸術』（昭和）二十九年五月一日中央公論美術出版『芸術選書』）、

『フイーールド・ノート』（野帖）―文化人類学・思索の旅』（昭和）四十二年九月二十日新潮社『新潮選書』）、『文化のなかの人間』（昭和）四十五年五月二十五日文藝春秋）、『日本列島文化論―日本人は爆発しなればおらなひ』（岡本太郎対話、昭和）四十五年十月二十五日大光社）、『遙かな山やま』（昭和）四十六年十一月十五日新潮社）等。

妻泉實美子著 黄金の『インカ探検』

記』（昭和）四十年一月二十日徳間書店）、『泉靖一と共に』（昭和）四十七年九月二十五日芙蓉書房）

刊。

